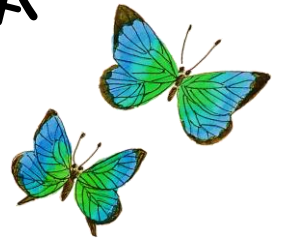


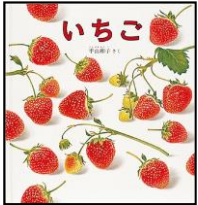
図書館員が選ぶおすすめの本 ～幼児向け（3,4,5歳）～



絵本の読み聞かせは、お子さんの心や言葉を育てます。3歳くらいになるとストーリーのあるお話もわかるようになり、絵本読み聞かせ黄金期！ともいえます。寝る前は読み聞かせをするなど、親子で本を楽しむ時間をぜひ作ってください。

「いちご」

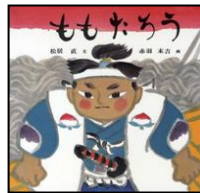
平山和子 // さく 福音館書店



あまくてすっぱい、まっかないちご。ふゆのさむさをのりこえた、はるのちいさなおくりもの。どうぞ、めしあがれ。

「ももたろう」

まつい ただし // ぶん あかば すえきち // え 安永 落子 // 題字 福音館書店



ももからうまれた「ももたろう」は、おばあさんがつくってくれたきびだんごをこしにつけ、いざ、おにがしまへ。いぬ、さる、きじとちからをあわせておにたいじ。

「つみき」

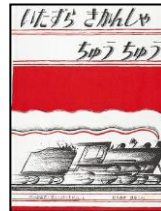
中川ひろたか // ぶん 平田利之 // え 金の星社



つみきをどんどんつんでいこう。さあて、いくつまでつめるかな？「やった～！かんせい！」とおもったら...。きっと、あなたもやりたくなりますよ。

「いたずら きかんしゃ ちゅうちゅう」

バージニア・リー・バートン // ぶん・え むらおか はなこ // やく 福音館書店



「ちゅうちゅう」は、みんなからかわいがられているちいさなきかんしゃです。でもあるとき、もっとはやくはしりたくなって...。ちゅうちゅうは、ぶじにかえってこられるでしょうか。

「まちには いろいろな かおがいて」

佐々木マキ // 文・写真 福音館書店



しんごうのところにあるおしボタン、おや？かおにみえる！マンホール、ポスト、たてもの...。あっちこっちにかおがいる。てくてくあるいていくと、いろいろなかおにであえるよ。

「10まで かぞえられる こやぎ」

アルフ・プリヨイセン // 作 山内 清子 // 訳 林 明子 // 絵 福音館書店



10までかぞえられるようになったこやぎ。「ぼくでひとつ、きみでふたつ、1、2」かってにかぞえられたどうぶつたちはおこっしまい...。さあて、どうなるのでしょうか！

「ぶたぶたくんのおかいもの」

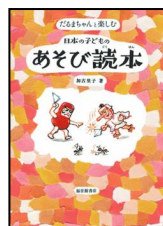
土方久功 // さく・え 福音館書店



ひとりでおつかいにいくぶたぶたくん。おかいものをして、とちゅうであったおともだちと いっしょに、きたほうへもどらないで どんどんさきへいきますよ。ぶじにおうちにかえられるのかしら。

「だるまちゃんと楽しむ 日本の子どものあそび読本」

加古里子 // 著 福音館書店



遊びのネタ本です。おもちゃがなくても、身近にある草花や紙やハンカチでも！！わが家のお気に入りの遊びは、どれかな？親子でたくさん遊んでください。

※対象年齢は目安です。

